
第3回ワークショップについて

理想のライフスタイルの実現に必要な環境を考えよう

次第

- ワークショップってなにをする？
- 柏原駅周辺まちづくりワークショップの全体イメージ
- R6年度上市公園社会実験の様子
- 第2回ワークショップの振り返り
〈質疑応答〉
- 第3回ワークショップの進め方 〈ワーク①〉
- 第3回ワークショップの進め方 〈ワーク②〉

■ ワークショップってなにをする？

定義

- 参加者が主体的に活動する場であり、体験型の講座やグループワーク、研究を行う。



■ ワークショップってなにをする？

ハード・ソフト施策に関する事項

- 対象地区のまちづくりに必要とされる都市機能や市民目線でのアイデアについて意見を取入れること

産官学等の多様な関係者の連携（エリアマネジメント）に関する事項

- 共通の課題解決に向けてアイデアを出し合い、実際に手や足、口を動かしながらお互いの考えについて学び、協働で目標達成へ向かうこと
- 柏原駅東地区のほか、駅西側の地区のまちづくりに関係する主体、本地区のまちづくりに興味をもつ個人や団体、教育機関等が連携する流れをつくること

■ 柏原駅周辺まちづくりワークショップの全体イメージ

イメージ

第1回

- 地区の長所短所を考える
- 活動に使える公共空間を共有する

第2回

- まちの人たちにとっての理想の暮らし方を思い描く

第3回

● 理想の暮らし方を実現するための環境を考える

●● (例：商店街の通り) で	●● (理想の暮らし)
↓ ができる ↓	
●●のある	●●な場所
イスがある	まちの賑わいを歩いて楽しめる
広場がある	にぎやかな
	
屋内のバックヤードがある	座る段差がある
	静かな
	談笑しながらくつろいでいる人たちがみられる



■ 柏原駅周辺まちづくりワークショップの全体イメージ

イメージ

第4回

● 環境をつくるための取組を考える

行政が
できる
こと

- ・ 駅前広場をつくる
- ・ 公園を再整備する
- ・ 公共空間を使いやすくするための制度を設ける

民間・
地域が
できる
こと

- ・ オープンカフェを行う
- ・ 休憩用のイスとテーブルを置く
- ・ イベントを開催する
- ・ 空き家を活用する 等

社会実験で 試してみる

- ・ 公園をイベント広場に設える
- ・ 道路を一定期間活用できる場所として占有する
- ・ テーブルベンチを設置する 等

- ・ オープンカフェを実施
- ・ テーブルとベンチを店前に設置する
- ・ ビアガーデン、マルシェを開催する
- ・ 子どもの遊び場をつくる 等

第5回

● 取組を見直す
● これから自分ができ
ることを考える

第6回

● 地区のアクションプラン
を考える
● 4月からの動きを考
える

■ R6年度上市公園社会実験について

社会実験名称：「ライブラリーガーデン in 上市公園」

- 2024年11月10日日曜日（10:00~16:00）に開催
- 『をかしわらマルシェ』、『清州フェス+1』も合同で開催
- 柏原駅周辺のまちづくりとして、中心となる公園のあり方を検討するために実施



R6 年度上市公園社会実験について

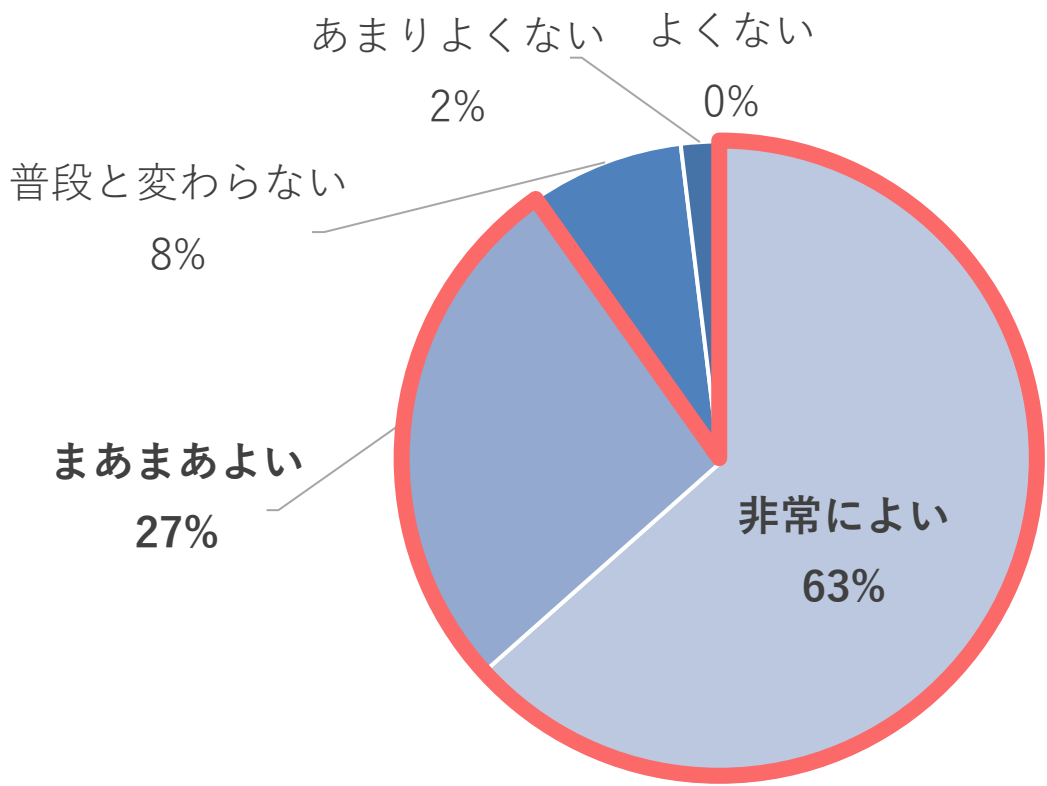


■ R6年度上市公園社会実験について

■ 来場者アンケート

Q. 普段の上市公園と比べて居心地の良さはどうでしたか。

⇒ 9割の方が「居心地がよい」と回答



■ 第2回ワークショップの振り返り

■ 「まちづくりゲーム」で理想の暮らし方のシーンを考えました



■ 第2回ワークショップの振り返り

- 日本都市計画学会関西支部特別委員会「ライフスタイルが紡ぐまちのみらい研究会」が企画・制作したまちづくりゲーム
- カードゲームのデータ・説明書は以下のQRコードから無償でダウンロードでき、自由に利用可能



ダウンロード用URL



■ 第2回ワークショップの振り返り

<暮らしのシーンのイメージ>

ビジョン：トマト農家の暮らし

私は、社会人5年目で農業体験をして農業の楽しさに目覚めて栽培を始めた人です。熊本の山奥でトマトづくりを行っていたが、水の違いによってトマトの味はかわるのかと疑問を持ち、各地を回ってトマトの食べ比べを行い始めた。トマトのオフシーズンは、ベビーシッターなどを行い、自分がその時々にいる地域で誰かに依頼されたら子守りや子どもとの交流を行い、他人の子育てを頑張っている。トマト農家として必要な電力などの資源は、自分の周辺のコミュニティの家からつくられて余った電力を使用。



出典：まちのみらい研究会（特別委員会）事業報告資料（（公社）日本都市計画学会関西支部）

■ 第2回ワークショップの振り返り

理想の暮らしのシーンの紹介

子育て・交流

タイトル

どんな人種の方も分け隔てなく交流し、地域社会で子を育てるまち

私は

アメリカ人の夫と小さい子どもを育てる育休中の30代日本人ママ 　　です。

暮らしのシーン

3年間の育休期間を活用し、柏原駅前のおしゃれな市のレンタルスペース（カフェ）で、1歳と3歳の我が子に「英語」に触れられるイベント（国際交流の場）を開いています。このイベントでは、地域に住む外国人やインバウンド（外国人観光客）を招き、日本文化や伝統（着付け、みそづくり）を英語で紹介し、子どもたちは英語で会話をしています。（外国人移住者も増加しています。）

普段は時短勤務をしているママたち（14時～15時終業）も、仕事終わりに集うことができます。

使用したトレンドカード

- ・〈制度〉長期の育児休暇が当たり前になる
- ・〈土地利用〉持て余している場所を気軽にレンタルスペースにできる
- ・〈文化〉衰退しつつある文化や伝統の再大衆化



第2回ワークショップの振り返り

理想の暮らしのシーンの紹介

働き方・交流

タイトル

仕事・交流がしやすい、住める！サードプレイス

私は

とある会社の社会人。地域の方と交流したい。
交流・コワーキングスペース兼居住地として使えるサードスペースがほしい人 **です。**

暮らしのシーン

- いつ：季節問わず
- どこ：少し駅から離れた住宅街・商店街
(空き家・空き店舗)
- だれ：社会人
- なに：マッチング・仕事



2拠点でのサブスクリプションサービスも展開され、在宅ワークも広まり、会社へ行かなくても働ける。そして交流のニーズが高まっているため、ここに行けば皆に会える！仕事ができる！しかも住める！

使用したトレンドカード

- ・〈住まい方〉あらゆる趣味嗜好の人とのマッチングが可能になっている
- ・〈交流・コミュニティ〉手軽に居住地を替えることが可能に
- ・〈働き方〉在宅ワークが一般化する

第3回ワークショップの進め方〈ワーク①〉

STEP 1

「理想の暮らしのシーン」を振り返る

前回出された理想の暮らしのシーンを見直して、参加者でしゃべりながらどのようなシーンがあったのかを把握します。

使用ツール

①資料2 理想の暮らしのシーン集

第2回ワークショップで出た「理想の暮らしのシーン」をまとめた資料

②ビジョンシート

「どのような主体が」「いつ」「誰と」「何をしている」シーンであるかを書きまとめる用紙

※トレンドカード

今起きつつあるまたは主流化すると予想される未来におけるライフスタイルや価値観のトレンド、技術・制度などを14のカテゴリーで整理したカード



トレンドカード

【ビジョンシート】記入例		跡のビジョン MATCH
タイトル	いろんなプロに仕事を教えてもらって、将来の夢が小さくらむまち	
私は	将来、どんな大人になろうか悩む中学生	
暮らしのシーン(いつ(季節や時間など)、どこで、誰と、何をしている)	私は学校帰りにいつも立ち寄るスーパーがあります。家の近くなるとなると、地域の自動販売機でドリンクが買える回数はいちいちおにぎりまで買った感じです。大きな高級な広げてのめがけした施設です。家裏の店では、目が土地を安く購入されたから安くついたらそうです。友達のお父さんやお母さん、70才を過ぎた近所のおじいさんもお店やお店で働いています。このスーパーで働いている、いい大人の人を見かけます。お話を聞いてみると、お父さんがお父さんで、仕事をしている様子を見たり、気軽に話してきて、仕事の話も聞かれます。いろんな働き方があるんだと聞いて、自分の将来の働き方を考えます。	
使用したトレンドカード+補足説明(あれば)	(交通インフラ) 次世代モビリティの拠点となる25の中心となる (働き方) 定年がない (経済) 郊外住宅、土地の価格が低下している	

ビジョンシート

第3回ワークショップの進め方〈ワーク①〉

STEP 2 シンキング & 共有

- 01 新たに「理想の暮らしのシーン」を考えたい方はトレンドカードを用いてビジョンシートに理想の暮らし方のシーンを記入します。
- 02 ビジョンシートとトレンドカードをもとにメンバーに向けて共有します。

〈ビジョンシートの一例〉

タイトル
いろいろなプロに仕事のことを教えてもらえて、将来の夢がふくらむまち
私は
将来、どんな大人になろうか悩む中学生 です。
暮らしのシーン[いつ(季節や時間など)・どこで・誰と・何をしている]
私は学校帰りにいつも立ち寄るスペースがあります。 家の近くまで迎えに来てくれる、地域の自動運転モビリティが集まる国道沿いのターミナルにできた拠点です。 大きな施設で広くてのびのびした施設です。家族の話では、市が土地を安く購入できたからゆったりくれたそうです。 友達のお父さんやお母さん、70才を過ぎた近所のおじさんもこの拠点でお仕事をしています。 このスペースで自習していると、いろいろな大人の人と話ができます。 図面を描いている人やプログラムを打っている人など、仕事している様子を見たり、 気軽に話しかけて、仕事の裏事情も教えてくれます。 いろいろな働き方があるんだなぁと思い、自分の将来の働き方を思案中です。
使用したトレンドカード+補足説明(あれば)
〈交通インフラ〉次世代モビリティの拠点が新たなまちの中心となる 〈働き方〉定年がない 〈経済〉郊外住宅・土地の価格が低下している



第3回ワークショップの進め方〈ワーク②〉

STEP 1

実現したい「理想の暮らしのシーン」を選ぶ

STEP 2

理想の暮らしのシーンを実現するための「環境」を考える

使用ツール

①資料2 理想の暮らしのシーン集

第2回ワークショップで出た「理想の暮らしのシーン」をカテゴリ別に分類

②ワークシート

「場所」「暮らし方」「環境」「状態」を書きまとめる用紙

※柏原駅周辺マップ

【ワークシート】

場所：○○で
暮らし方：理想の暮らしのシーン を実現したい！
環境：○○のある
状態：○○な場所 が必要です。

ワークシート



柏原駅周辺マップ

第3回ワークショップの進め方〈ワーク②〉

STEP 2 理想の暮らしのシーンを実現するための「環境」とは？

①場所 ○○（例：上市公園）で

②暮らし方 「理想の暮らしのシーン」を実現したい！

▼ 実現するためには

③環境 ○○のある



店がある

イスがある

広場がある

座る段差がある

屋内のバックヤードがある

④状態 ○○な場所



まちの賑わいを歩いて楽しめる

人が多くにぎやかな

静かな

食を楽しみながら休む人たちがみられる

が必要です！

第3回ワークショップの進め方 〈ワーク②〉

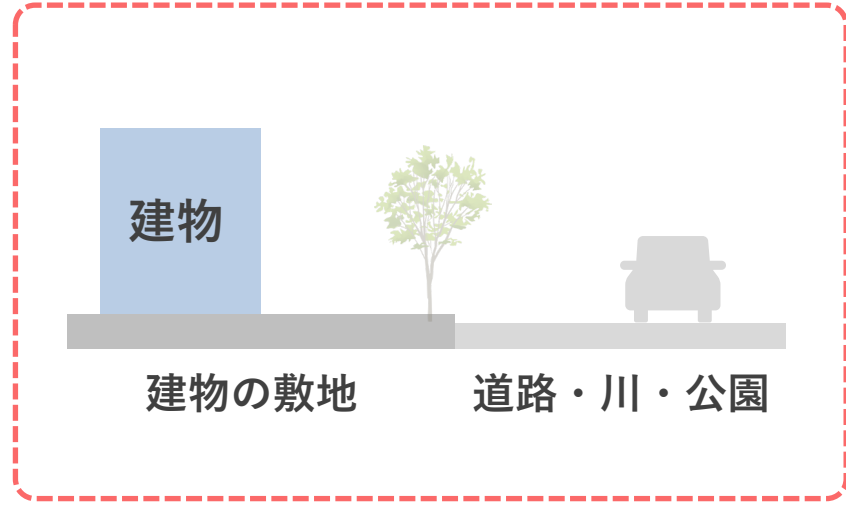
STEP 2 理想の暮らしのシーンを実現するための「環境」とは？

③環境

〇〇のある

<考える空間の広さ>

施設とその敷地、その周辺にある
道路空間



第3回ワークショップの進め方 〈ワーク②〉

STEP 2 理想の暮らしのシーンを実現するための「環境」とは？

③環境

〇〇のある



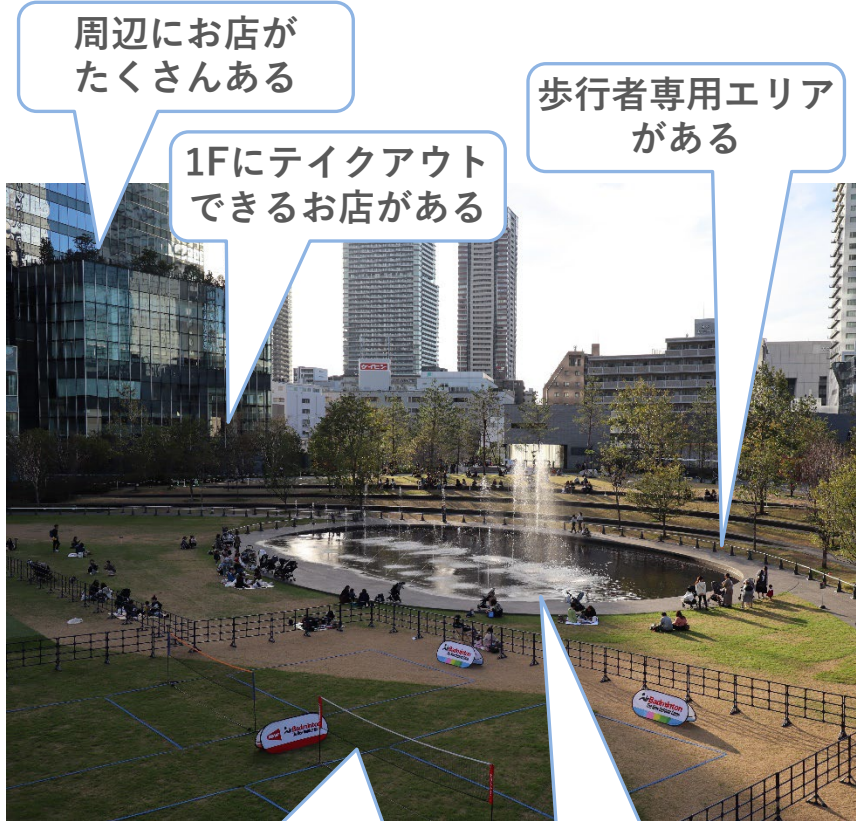
緑がある

街灯がある

飲食店がある

お店の前にベンチがある

オープンカフェとして使える空間がある



周辺にお店がたくさんある

1Fにテイクアウトできるお店がある

歩行者専用エリアがある

スポーツができるエリアがある

噴水がある

■ 第3回ワークショップの進め方 〈ワーク②〉

STEP 2 理想の暮らしのシーンを実現するための「環境」とは？

④状態 ○○な場所

<状態のイメージ>

①人の属性、人数

- ・屋外で遊ぶ子供たちが多いような
- ・少人数で落ち着いて休めるような

②活動の種類

- ・友人たちと落ち着いて談笑できるような
- ・そこに行けば何か交流が生まれるような

③空間の特徴

- ・日差しが温かい
- ・子どもたちの元気な声が聞こえるような
- ・緑を少しでも感じることができるような



少人数で落ち着いて
休めるような

緑を少しでも感じる
ことができるような

友人たちと落ち着いて
談笑できるような

第3回ワークショップの進め方〈ワーク②〉

STEP 2 理想の暮らしのシーンを実現するための「環境」とは？

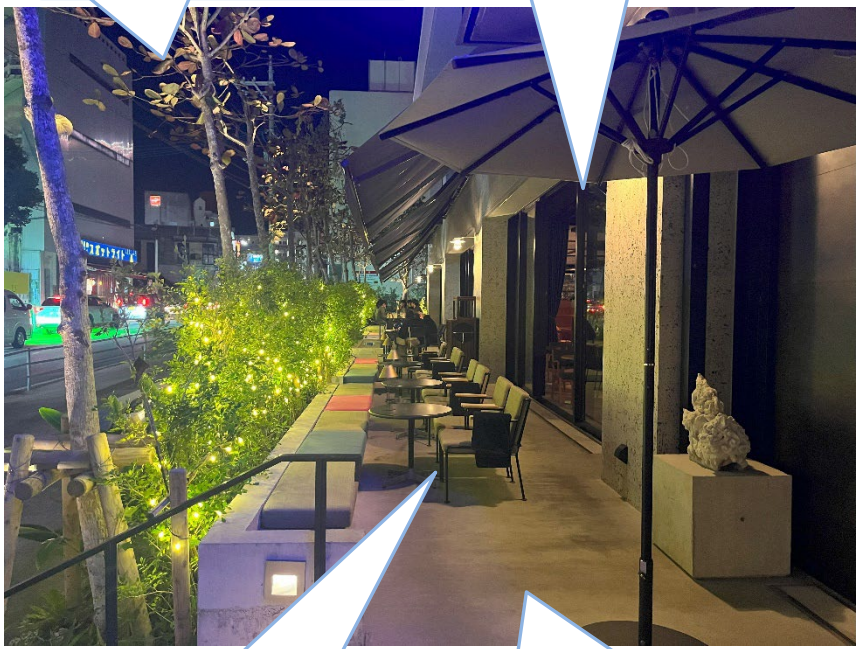
④状態 ○○な場所

おしゃれで落ち着いた

SNS映えするような

子どもの元気な声が聞こえるような

日差しが温かい



隠れ家のような

清潔感のある

ゆっくりできるような

1人でも快適な

■ 第3回ワークショップの進め方 〈ワーク②〉

STEP 3 グループメンバーへ共有

グループ内で各自発表をしていただきます。



STEP 4 共有・振り返り

各テーブルの代表者より発表していただきます。

